日本動物分類学会

第 45 回大会プログラム

2009 年6月 13 日(土)～14 日(日)

名古屋港水族館

********** スケジュール **********

6月 13 日(土)

受付(北館券売所右側(手前)50m)	9:30-
一般講演(北館 2F レクチャールーム)	12:30-18:25
総会(北館 2F レクチャールーム)	18:25-19:15
懇親会(南館黒潮水槽前特設会場)	19:15-21:00

6月 14 日(日)

一般講演(北館 2F レクチャールーム)	8:45-10:00
学会賞・奨励賞受賞記念講演(北館 2F レクチャールーム)	10:00-11:00
ポスター発表(北館 2F 廊下)	11:00-12:00
公開講演会(名古屋港ポートビル 4F 講堂)	13:00-14:30
一般講演(北館 2F レクチャールーム)	15:00-17:30

********** 交通案内 **********

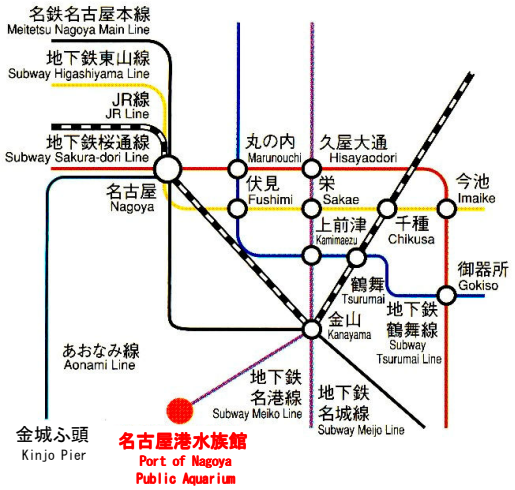
名古屋港水族館は名古屋市営地下鉄「名古屋港」駅の南西にあります(3 番出口より徒歩 5 分).
大会用受付および入口を, 一般来館者入口(正面玄関)ではなく, 券売所右側(手前)50mに設けます. ご注意ください.

鉄道をご利用の場合　JR・名鉄「名古屋」駅, または「金山」駅から地下鉄をご利用ください

●名古屋駅から
・地下鉄: 東山線で栄・藤が丘方面へ, 「栄」駅で名城線金山方面「名古屋港」行乗りかえ, 終点下車

・名鉄・JR: 「金山」駅下車, 地下鉄名港線「名古屋港」行乗りかえ, 終点下車

●セントレア(中部国際空港)から
・名鉄: 名鉄常滑線「金山」駅下車, 地下鉄名港線「名古屋港」行に乗りかえ, 終点下車



お車をご利用の場合　水族館付近にある一般用駐車場をご利用ください. 休日は混雑しますのでご注意ください

●東名高速道路　静岡・東京方面から
→豊田 JCT→伊勢湾岸自動車道→名港中央 IC
(名港中央 IC 出口左折, 道なりで築地口方面, 築地口交差点右折直進)

●東名阪自動車道・新名神高速道路　三重方面から
→亀山 JCT→四日市 JCT→伊勢湾岸自動車道→名港中央 IC
(名港中央 IC 出口左折, 道なりで築地口方面, 築地口交差点右折直進)

●名神高速道路　滋賀方面から・東海北陸道から
→一宮 JCT→名神高速道路→一宮 IC→名古屋高速道路(一宮 IC→明道町 JCT→東片端 JCT)→笠寺 IC
(笠寺 IC 出口から道なり, 星崎一丁目の信号右折. 丹後通の信号右折
国道 23 号線四日市方面へ. 築地口 IC を出て, 築地口交差点左折直進)

●中央自動車道方面から
→小牧 JCT→小牧 IC 方面→小牧 IC→名古屋高速道路→笠寺 IC
(笠寺 IC 出口から道なり, 星崎一丁目の信号右折. 丹後通の信号右折
国道 23 号線四日市方面へ. 築地口 IC を出て, 築地口交差点左折直進)

名古屋港水族館へのアクセスはホームページを参考にして下さい
(http://www.nagoyaaqua.jp/othe/acce/index.html)

********** 周辺・館内案内 **********

名古屋港周辺

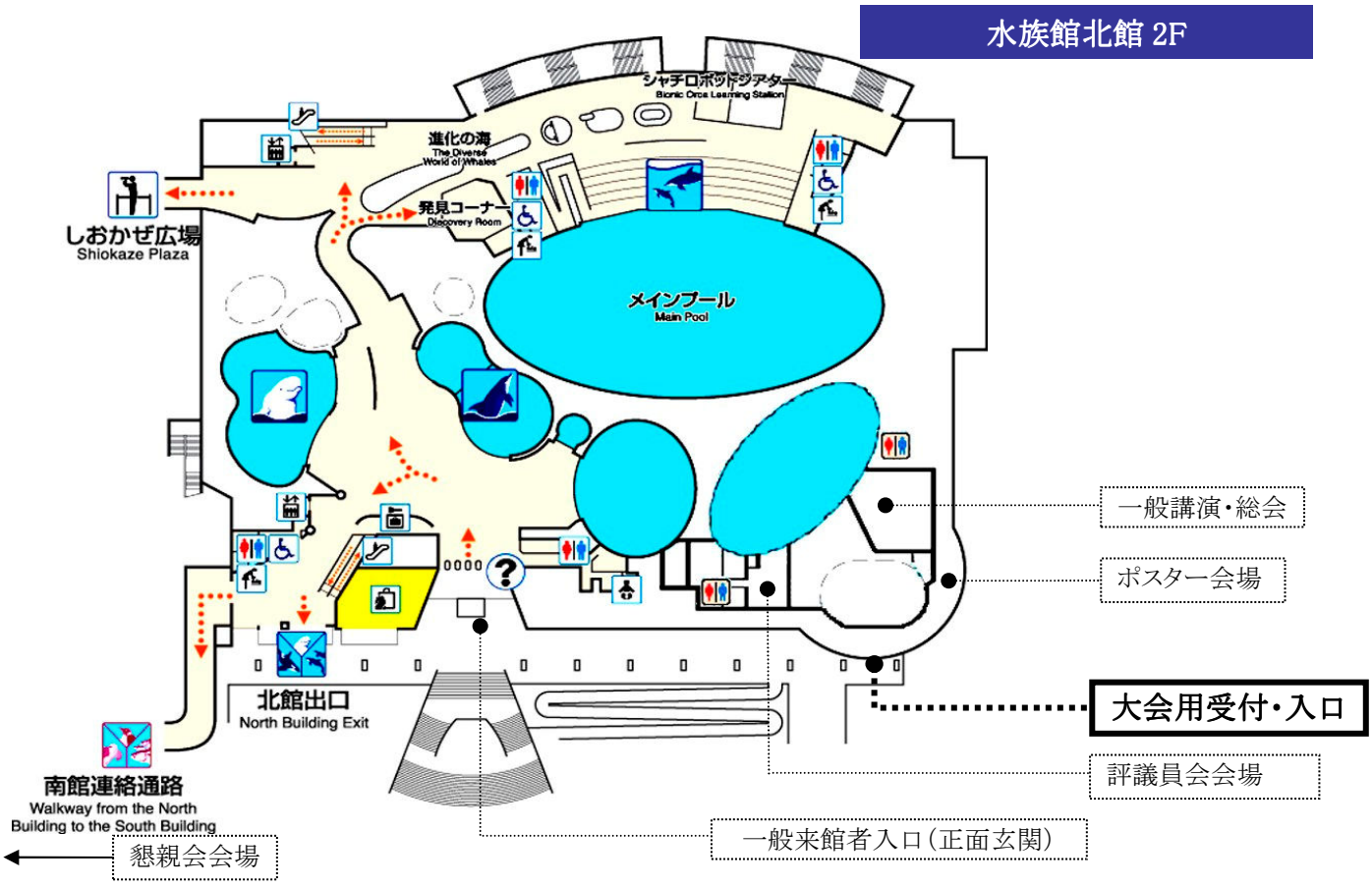
地下鉄「名古屋港」駅
3 番出口

［水族館・北館］
一般講演・ポスター・
総会・評議員会

［水族館・南館］
懇親会

［ポートビル］
公開講演会

水族館北館 2F



********** 注意事項 **********

受付を大会初日 13 日(土)の 9:30 より始めていますので，一般講演の始まる 12:30 までの空き時間を利用してポスターを掲示，あるいは水族館内を観覧していただくことが可能です．

一般講演者の方へ： 学会当日の受付時に講演ファイルの入った CD 又はフラッシュメモリを受付スタッフにお渡しください．
講演の持ち時間は質疑応答を含めて 15 分です．講演終了後は次の講演の座長を務めていただきます．

ポスター発表者の方へ： 14 日(日)の発表当日は時間がございませんので，可能な限り 13 日(土)の空き時間，休憩時間などを利用し，ポスターを掲示してください．

大会2日目のお弁当について： 大会参加申し込み時にお弁当を注文された方は，各自，受付にて引換券を提出してお弁当とお茶をお受け取りください．

大会参加者の水族館入館について： 大会参加者は，水族館観覧側への入館が可能です．水族館観覧側へは，いったん大会用入口より外へ出て，来館者入口(正面玄関)から名札を提示してご入館ください．水族館をご覧になってから帰られる方は，お帰りの際に出口のスタッフに名札をお渡しください．

懇親会の参加者へ： 懇親会が始まる時間は水族館の閉館後になり，各自で館内を移動することはできません．懇親会に参加される方には大会用受付付近に一度集まっていただき，スタッフとともに会場へ移動します．

休憩コーナーの使用について： お茶とお菓子を用意してありますので，ご利用ください．

ロッカーの使用について： 来館者入口を入ってすぐ左側にある一般用有料ロッカーをお使いください．

********** 6 月 13 日(土) **********

●一般講演(北館 2F レクチャールーム) 12:30-18:25

12:30 O-1 外来種となる *Megabalanus coccopoma* の日本集団の遺伝的特性と国内分布
○ 山口寿之(千葉大・院理)・大谷道夫(海洋生態研)・植田育男(新江ノ島水族館)・川井浩史(神戸大・院)・山田和洋・平本隆輔・藤本顕・寺澤弘貴(千葉大・理)

12:45 O-2 本邦産セバヨコエビ属(新称)4種について
有山啓之(大阪府環境農林水産総合研)

13:00 O-3 沖縄諸島産モンガラカワハギ科魚類 14 種から得られた *Hatschekia* 属カイアシ類 14 種
○ 上野大輔・長澤和也(広島大・院・生物圏科学)

13:15 O-4 南北大東島の陸産等脚目甲殻類
布村昇(富山市科学博)

13:30 O-5 日本産およびフィリピン産ヨシエビの形態について
○ 篠宮幸子(四国大・生活科学)・酒井勝司

13:45 O-6 *Phintella* (Araneae, Salticidae) の 2 種，*P.arenicolor, P.castriesiana* における種内形態変異
○ 植松いのり(北大・理学院)・馬渡駿介(北大・ 理学研究院)

14:00 O-7 セトウチフキバッタ(ヤマトフキバッタ)群の地理的変異と分類学的再検討
川上靖(鳥取県博)

14:15 O-8 生殖細胞が決めるウミヒドラ科ヒドロ虫類の生殖体型
並河洋(国立科博)

14:30 O-9 107 年ぶりに確認されたダメサンゴ *Paracorallium inutile*(刺胞動物門：花虫綱：八放サンゴ亜綱)
○ 野中正法(沖縄美ら海水族館)・Katherine M. Muzik(日本水中映像/沖縄美ら海水族館)

14:45 O-10 広島湾産フグ毒蓄積性ヒモムシの正体とホソヒモムシ類血管系の比較解剖学
○ 柁原宏(北海道大)・伊藤克敏(愛媛大)・陳海霞(中国海洋大)・孫世春(中国海洋大)・浅川学(広島大)

15:00 O-11 MtCOI に基づく日本および近隣海域の浅海性タコ類の分類と DNA バーコーディング
小野奈都美・○ 窪寺恒己(国立科博)

休憩(10 分)

15:25 O-12 カサガイ類(軟体動物腹足綱)の分類と系統：日本産全種のモノグラフの作成
○ 佐々木猛智(東京大学総合研究博物館)・中野智之(国立科学博物館)

15:40 O-13 名古屋市の中心部には，昔，泥干潟があり，アリアケカワゴカイ(多毛綱ゴカイ科)がすんでいた：ウィーン自然史博物館所蔵標本の検討結果
○ 佐藤正典(鹿児島大・理)・H. Sattmann(ウィーン自然史博)

15:55 O-14 形態と分子の解析による *Cyathopharyn* 属(シクリッド)の分類学的再検討
高橋鉄美(京大・院理)

16:10 O-15 マレー半島産両棲類に見られる高度の固有性
○ 松井正文・西川完途(京大・院人間・環境)・ダイクス・ベラブール(マラヤ大・理・動物)

16:25 O-16 江戸時代の本草学書からクサガメの移入時期を推定する
○ 疋田努・鈴木大(京大・院理・動物)

16:40 O-17 生物多様性情報の集積と分類学の役割
伊勢戸徹(京大・フィールド研・瀬戸臨海)

16:55　O-18　海洋研究開発機構で構築中の海洋生物の統合データシステム
○ 田中克彦・藤倉克則・荻堂盛誉・園田朗・丸山正(海洋研究開発機構)
17:10　O-19　海洋生物のセンサス Census of Marine Life の活動と日本の海洋生物の多様性
○ 藤倉克則・奥谷喬司・長濱統彦・能木裕一・Dhugal Lindsay・山本啓之・北里洋(海洋研究開発機構)・白山義久・久保田信・伊勢戸徹(京大)・長谷川四郎(熊本大)・大塚攻(広島大)・澤本彰三・村山司(東海大)・Mark J.Grygier(琵琶湖博)・柳研介・駒井智幸(千葉県立中央博)・齋藤暢宏(水土舎)・松浦啓一・藤田敏彦・齋藤寛(国立科博)・田近謙一(日本大)・下村通誉(北九州市立自然史・歴史博)・今原幸光(黒潮生物研)・鈴木紀毅(東北大)・野村恵一(串本海中公園セ)・中町美和(東北区水産研)・山口寿之(千葉大)・西栄二郎(横浜国大)・福岡弘紀(西海区水研)・遠部卓(広島大)・志賀直信(函館短大)・柁原宏(北大)・西田周平・横山博・西川淳・伊勢優史(東京大)・古屋秀隆(大阪大)・後藤太一郎　(三重大)・雪吹直史(Univ. of British Columbia)・上田拓史(高知大)・河地正伸(国立環境研)・岩崎望(高知大)・田中次郎・鈴木秀和 (東京海洋大)・堀田拓史・中村光一郎
17:25　O-20　個体群リニージ種概念―種概念と認識基準の混同を避ける―
直海俊一郎(千葉県立中央博)
17:40　O-21　東南アジアにおける浅海性動物の多様性研究基盤構築支援プロジェクト
松浦啓一(国立科学博物館・標本資料センター)
17:55　O-22　中国産イモリの一種 *Pachytriton granulosus* の分類学的位置
○ 西川完途(京大・院人間・環境)・江建平(中国科学院・成都)・松井正文(京大・院人間・環境)・莫運明(広西自然博)・費梁(中国科学院・成都)
18:10　O-23　タンガニイカ湖産カワスズメ科魚類 *Julidochromis* 属の分類学的再検討
○ 田城文人(北大・院水産)・安房田智司(中央水所上田支所)・仲谷一宏(北大)

●総会(北館 2F レクチャールーム)　18:25-19:15

●懇親会(南館 2F 黒潮水槽前特設会場)　19:15-21:00

懇親会中に学会賞・奨励賞・特別功労賞の授賞式を予定しています.

********** 6 月 14 日(日) **********

●一般講演(北館 2F レクチャールーム)　8:45-10:00

8:45　O-24　宮古島の洞穴地下水域から得られたテナガエビ属の一未記載種について
藤田喜久(琉球大・大教セ/NPO 法人 海の自然史研究所)
9:00　O-25　琉球列島浅海域のウミクワガタ相
○ 太田悠造(琉球大・理工学・海洋環境)・広瀬裕一(琉球大・理・海洋自然科学)
9:15　O-26　サンフランシスコ湾に導入された東アジア産カイアシ類の導入元の探索
下埜敬紀・○ 大塚攻(広大院生物圏)・H.Y. Soh(Chonnam Nat. Univ.)・X. Shang・C. Huang(Wenzhou Med. Coll.)・W. Kimmerer(San Francisco St. Univ.)・伊東宏(水土舎)・石丸隆(東京海洋大)・羽生田岳昭・川井浩史(神戸大・内海)
9:30　O-27　四国におけるアカサビザトウムシ(クモガタ綱ザトウムシ目)の染色体数の地理的分化と環状重複
○ 鶴崎展巨・川口みなこ(鳥取大・地域・生物)
9:45　O-28　ボドコーパ目貝形虫類の背甲縁辺部に発達する分類形質の評価
○ 山田晋之介(東大)・Dietmar Keyser(ハンブルク大)

●日本動物分類学会賞および奨励賞受賞記念講演(北館 2F レクチャールーム)　10:00-11:00

10:00　小型甲殻類を採集して記載する～特に等脚目の分類学的研究
下村　通誉(北九州市立自然史・歴史博物館)

10:30　棘皮動物の生活史の多様性とその系統分類学的意義
小松美英子(富山大・院理工・生命情報システム)

● ポスター発表(北館 2F 廊下)　11:00-12:00

P-1　真核生物の高次分類体系　―最近の研究動向―
島野智之(宮城教育大・環境教育実践研究センター)
P-2　日本には何種類の原生生物が生息しているのか？　―モデルとしての有殻アメーバ類:データベースの構築―
○ 青木義幸(名古屋大・院環境学/宮城教育大・環境教育実践研究セ)・島野智之(宮城教育大・環境教育実践研究セ)
P-3　広島県東広島市から得られた*Bursaria truncatella*（繊毛虫門:コルポダ綱:ブルサリア科)
○ 岡崎江美(広島大・教育,(現)阪大微生物病研究会)・富川光(広島大・教育)・末友靖隆(岩国市立ミクロ生物館)・鳥越兼治(広島大・教育)

P-4 北海道大黒島の海産線虫 *Oncholaimus* 属(線形動物:エノプルス目)の2未記載種.
○ 嶋田大輔・柁原宏・馬渡峻輔(北大・院理・自然史科学)
P-5 北海道道東沖親潮域から移行域にかけての中深層性クラゲ類の出現種～ヒドロ虫類(Hydrozoa)の新分類体系を通して～
○ 森田宏(中央水研/横国大・院・環境情報)・豊川雅哉・杉崎宏哉(中央水研)・久保田信(京大・瀬戸臨海)・菊池知彦(横国大・院環境情報)
P-6 台湾近海産の非造礁性イシサンゴ類(予報)
○ 立川浩之(千葉県立中央博分館・海の博物館)・Mei-Fang Lin(Research Center for Biodiversity, Academia Sinica, Taipei, Taiwan)・Si-Min Chao・Kun-Shuan Lee(National Museum of Natural Science, Taichung, Taiwan)・Chaolun Allen Chen(Research Center for Biodiversity, Academia Sinica, Taipei, Taiwan)
P-7 新種イタチムシ一種の記載
○ 鈴木隆仁・古屋秀隆・常木和日子(大阪大・院理・生物科学)
P-8 エゾボラモドキ種群(エゾバイ科, エゾボラ属)の系統地理と種分類
○ 白井滋(東京農業大・生物産業)・廣瀬太郎・養松郁子(日本海区水研)
P-9 北海道沿岸域における動吻動物
○ 山崎博史・馬渡駿介・柁原宏(北大・院理・自然史科学)
P-10 世界遺産石見銀山大久保間歩から得られたチョウセンメクラヨコエビ(端脚目:メクラヨコエビ科)
○ 楢原有紀子・富川光・鳥越兼治(広島大・教育)
P-11 日本産 *Sinelobus* 属(甲殻亜門:タナイス目:タナイス科)について
○ 角井敬知・小林憲生・馬渡峻輔(北大・院理・自然史科学)
P-12 世界遺産石見銀山大久保間歩から採集されたケンミジンコ目カイアシ類
○ 中村陽祐・富川光・鳥越兼治(広島大・教育)
P-13 日本近海に出現するコノハエビ類(甲殻亜門・薄甲目)の分類学的研究
○ 植木彩(真鶴町生涯学習課)・菊池知彦(横浜国大・教育人間科学)
P-14 カクレエビ亜科アカホシカクレエビ種群の分類学的位置と西部太平洋より得られた 1 未記載種
○ 奥野淳兒(千葉県立中央博分館・海の博物館)・Alexander James Bruce (Queensland Museum, Australia)
P-15 沖縄本島から得られた稀少なカニ類について
○ 小松浩典(国立科博)・武田正倫(帝京平成大)
P-16 社会性狩蜂ホソアシナガバチ属 (*Parapolybia*)(昆虫綱:ハチ目, アシナガバチ亜科)の種分類体系の再検討
－特に形態形質の重要性に着目して－
○ 斎藤歩希(茨城大・日本学術振興会特別研究員)・小島純一(茨城大・理)

●COP10 パートナーシップ事業 公開講演会(名古屋港ポートビル 4F 講堂) 13:00-14:30

イカ・タコの分類は難しい
奥谷 喬司(海洋研究開発機構)

クジラとイルカの種の多様性, そのさまざまな生態
吉岡 基(三重大・院・生物資源)

●一般講演(北館 2F レクチャールーム) 15:00-17:30

15:00 O-29 ミュンヘン動物標本収蔵館のカイメン動物および腕足動物標本中から新たに得られたコケムシ類
○ 広瀬雅人 ・馬渡駿介(北大・院理・自然史科学)
15:15 O-30 ヒトデに寄生する無殻巻貝 *Asterophila japonica* の幼生の生活様式
○ 清水加奈(富山大・院理工・生物)・佐々木猛智(東大・総合研究博)・小松美英子(富山大・院理工・生命情報システム)
15:30 O-31 ヒトデ寄生性シダムシの 2 種の同定と幼生発生
伊藤貴之・○ 船津宏也(富山大・理・生物)・小松美英子(富山大・院理工・生命情報システム)・Mark J. Grygier(滋賀県立琵琶湖博)
15:45 O-32 ヤマトホシヒトデの幽門盲嚢内に寄生するスイクチムシの未記載種に関する形態と生殖
○ 柴田大輔(富山大・院理工・地球生命環境科学)・高田秀世(富山大・理・生物)・橋本惇(長崎大・水産)・Mark J. Grygier(滋賀県立琵琶湖博)・ 小松美英子(富山大・院理工・生命情報システム)
16:00 O-33 わが国におけるウオビル科ヒル類の研究と最近見出された本科数種の同定
○ 長澤和也・上野大輔 (広島大・院生物圏科学)
16:15 O-34 日本産ツノモヅル属(ユウレイモヅル科)の分類学的再検討
○ 岡西政典(東大・院理・生物科学)・藤田敏彦(国立科博)
16:30 O-35 閉殻筋の微細構造と閉殻筋痕の保守性および変異性について(予察)
○ 前川優・塚越哲(静岡大・理)・梶智就(静岡大・院創造科学技術)
16:45 O-36 遺伝的関係からみえる *Microloxoconcha* sp. (甲殻類:貝形虫類)の雄の二型と生殖的隔離
○ 東 亮一・塚越哲・木村浩之・加藤憲二(静岡大・院創造科学技術)
17:00 O-37 間隙性貝形虫類 *Cobanocythere* 属と *Hanaicythere* 属の分類と多様性
○ 高橋香里(静岡大・院理)・塚越哲(静岡大・理)
17:15 O-38 日本産淡水生貝形虫類の間隙環境への適応の可能性
○ 須田隼人(静岡大・院理)・塚越哲(静岡大・理)

********** 参加者名簿 **********

氏名	所属	講演番号
あ		
青木 薫*	横浜国大・院環境情報	
青木 義幸*	名古屋大・院環境/宮城教育大・環境教育実践研究センター	P-2
有山 啓之*	大阪府環境農林水産総合研究所	O-2
伊勢戸 徹*	京大・フィールド研・瀬戸臨海実験所	O-17, 19
植木 彩*	真鶴町生涯学習課	P-13
上野 大輔*	広島大・院生物圏	O-3, 33
植松いのり*	北海道大・院理	O-6
太田 悠造*	琉球大・院理工・海洋環境	O-25
大塚 攻*	広島大・院生物圏	O-19, 26
岡崎 江美	阪大微生物病研究会	P-3
岡西 政典*	東京大・院理・生物科学	O-34
奥谷 喬司*	海洋研究開発機構	O-19, 公開講演会
奥野 淳兒*	千葉県立中央博物館分館 海の博物館	P-14
か		
角井 敬知*	北海道大・院理	P-11
柁原 宏*	北海道大・院理	O-10, 19; P-4, 9
加藤 哲也*	京大フィールド研・瀬戸臨海実験所	
川上 靖*	鳥取県立博物館	O-7
川田伸一郎*	国立科学博物館	
菊池 知彦*	横浜国大	P-5, 13
窪寺 恒己*	国立科学博物館	O-11
駒井 智幸*	千葉県立中央博物館	O-19
小松 浩典*	国立科学博物館	P-15
小松美英子*	富山大・院理工・生命情報システム	O-30, 31, 32; 学会賞受賞記念講演
さ		
斉藤 知己*	名古屋港水族館	
斎藤 歩希	茨城大・教育/学振特別研究員	P-16
佐々木猛智*	東京大・総合研究博物館	O-12, 30
佐藤 正典*	鹿児島大・理	O-13
篠宮 幸子*	四国大・生活科学	O-5
柴田 大輔*	富山大・院理工・地球生命環境	O-32
嶋田 大輔*	北海道大・院理・自然史科学	P-4
島野 智之*	宮城教育大・環境教育実践研究センター	P-1, 2
清水 加奈*	富山大・理工・生物	O-30
下村 通誉*	北九州市立自然史・歴史博物館	O-19; 奨励賞受賞記念講演
白井 滋*	東京農業大・生物産業	P-8
鈴木 隆仁	大阪大・院理	P-7
須田 隼人*	静岡大・院	O-38
須藤 耕佑*	千葉大・院自然科学	
た		
高橋 香里*	静岡大・院理	O-37
高橋 鉄美*	京都大・院理・動物生態	O-14
田城 文人*	北海道大・院水産	O-23
立川 浩之*	千葉県立中央博物館分館 海の博物館	P-6
田中 克彦*	海洋研究開発機構	O-18
塚越 哲*	静岡大・理	O-35, 36, 37, 38
鶴崎 展巨*	鳥取大・地域・生物	O-27
富川 光*	広島大・院教育	P-3, 10, 12
富永 英之	福井県立武生高等学校	
友国 雅章*	国立科学博物館	
な		
直海俊一郎*	千葉県立中央博物館	O-20
長澤 和也*	広島大・院生物圏	O-3, 33
中村 陽祐	広島大・院教育	P-12
並河 洋*	国立科学博物館	O-8
楢原有紀子	広島大・教育	P-10
西川 完途*	京都大・院人間・環境	O-15, 22
西川 輝昭*	名古屋大・博物館	
西田 和記*	千葉大・理	
布村 昇	富山市科学博物館	O-4
野中 正法*	沖縄美ら海水族館	O-9
は		
東 亮一*	静岡大・院創造科学技術	O-36
疋田 努*	京都大・院理・動物	O-16
広瀬 雅人*	北海道大・院理・自然史科学	O-29
藤倉 克則	海洋研究開発機構	O-18, 19
藤田 喜久*	琉球大・大学教育センター/NPO 法人海の自然史研究所	O-24
船津 宏也*	富山大・理・生物	O-31
堀越 彩香	東京大・院農学生命	
ま		
前川 優*	静岡大・理	O-35
松井 正文*	京都大・院人間・環境	O-15, 22
松浦 啓一*	国立科学博物館・標本資料センター	O-19, 21
丸 智明	帝京科学大・生命環境	
馬渡 峻輔*	北海道大・院理・自然史科学	O-6, 29; P-4, 9, 11
三橋 雅子*	大阪工業大・工・一般教育	
向井 宏*	京大・フィールド研	
村野 正昭*		
森 敦史	(株)日本海洋生物研究所	
森田 宏*	中央水研/横浜国大・院環境情報	P-5
や		
八巻 明香	横浜国大・院環境情報	
山口 寿之*	千葉大・院理	O-1, 19
山崎 博史*	北海道大・院理・自然史科学	P-9
山田晋之介*	東京大・理・地球科学/学振 PD	O-28
米澤 摩耶*	富山大・理・生物	
Mark J. Grygier*	滋賀県立琵琶湖博物館	O-19, 31, 32
Taha B. H. Soliman*	富山大・理・生物	

(*は懇親会出席者)

大会事務局 〒455-0033 名古屋市港区港町1-3
名古屋港水族館 斉藤 知己 Email: t-saito@nagoyaminato.or.jp;
tel: 052-654-7080(代); fax: 052-654-7001
ホームページ: http://www.nagoyaaqua.jp/aqua/index.html